

地域で取り組む！ 空家の発生予防セミナー

令和7年度行政提案型協働事業報告書

都市部交通住宅課住宅政策・移住相談担当
神奈川県行政書士会秦野・伊勢原支部（協力）

事業概要

本事業は、令和7年11月26日に締結された秦野市とおおね台団地自治会との空家の発生予防事業に関する協定書に基づき実施されました。

おおね台団地自治会においては、現在の社会情勢と同様に、人口減少や高齢化の影響を受け、地域の空き家の増加が喫緊の課題となっています。

こうした背景から、空家の発生予防や自身の将来の備えについての関心を深めていただくため、市職員や行政書士によるセミナーを開催したものです。

当日の内容

◇空き家の実情と終活ノートの活用

(説明：秦野市都市部交通住宅課住宅政策・移住相談担当)

◇相続・遺言・成年後見制度の活用

(説明：神奈川県行政書士会秦野伊勢原支部)

◇質疑応答

個別相談会
も開催

市職員&行政書士会による
地域で取り組む！
空家の発生予防セミナー

2月14日(土) 会場 おおね台自治会館
13:00~15:00 (北矢名666-390)

定員 30名
(事前予約制(先着順))

プログラム(予定)

12:40~13:00	開場・受付開始
13:00~13:10	開会
13:10~13:30	空き家の実情と終活ノートの活用
13:30~13:40	休憩
13:40~14:20	相続・遺言・成年後見制度について
14:30~15:00	個別相談会(希望者のみ)

市職員
行政書士会

内容の抜粋（空き家の実情と終活ノートの活用）

秦野市交通住宅課
住宅政策・移住相談担当

空き家が及ぼす周囲への影響

空き家は、定期的に管理を行わないと、みるみるうちに劣化が進んでしまいます。放置された状態が続くと、景観を損ねてしまったり、倒壊の危険性がでてきてしまったりと、周囲に悪影響を及ぼす存在となってしまいます。



放置された空き家（出典：国土交通省）

終活ノートを書いてみよう

空き家は、相続で取得するケースが多いにも関わらず、国の調査では、事前に対策を行っている人はおよそ5人に1人程度となっています。

万が一に備え、今から準備を進めておくことが大切です。まずは、終活ノートに自身の想いを書き留め、家族で話し合うきっかけを作りましょう。



空家にしない
「わが家」の終活ノート

内容の抜粋（相続・遺言・成年後見制度について）

神奈川県行政書士会
秦野伊勢原支部



相続

自身の財産を引き継ぐために、まずは「誰に引き継げるのか」「どんな財産があるのか」を整理し、話し合いを進めていくことが大切です。ただし、借金などの負債も「財産」に含まれますので注意が必要です。



遺言

自身の財産をどうするか生きているうちに決めておくことができます。相続人の中での話し合いは不要になり、相続手続きがスムーズになります。



成年後見制度

意思能力の低下で判断が難しくなった方の、財産や権利を守るための制度です。

実施結果

おおね台団地自治会に加入している12名の方がセミナーに参加していただき、今からできる「備え」の大切さや専門的な知識を共有できました。

セミナー後には、贈与の手続きの進め方など資産の引き継ぎに関する具体的な質問が挙がり、活発な意見交換が行われました。



セミナーの様子

参加者の声

- ◆空き家にしないために、終活ノートを活用したいと思った。
- ◆家族に負担をかけないために、遺言を残したいと思った。
- ◆家や資産を元気なうちに整理する大切さを学んだ。

今後の事業展開

希望する自治会や地域単位での、セミナーや個別相談会を随時実施していく予定です。